

厚生労働省和歌山労働局発表
平成29年3月17日

担 当	厚生労働省和歌山労働局
	労働基準部健康安全課
	健康安全課長 倉橋 一正
	安全専門官 嶋本 輝樹

「STOP！！死亡災害2017 和歌山」

～労働災害は、家族にとっての悲しみだけでなく、社会全体の大きな損失です～

和歌山労働局（局長 なかほら まさひろ 中原 正裕）は、死亡災害撲滅を目指して
「STOP！！死亡災害2017 和歌山」を展開します。

○ 平成28年の死亡者数14人（平成29年1月末速報値）

- ・平成27年（確定値）の12人を2人上回り、3年連続の増加となった。
- ・業種別では、建設業が7人と最も多く、半数を占めており、このうち、コンクリート構造物の解体作業における死亡災害が3件となっている。
- ・事故の型では、「崩壊、倒壊」によるものが4人、「墜落、転落」によるものが4人と2つの事故の型で半数以上を占めている。
- ・50歳以上の中高齢労働者が8人と半数以上であった。

○ 「STOP！！死亡災害2017 和歌山」

- ・事業者と労働者が「安全」を最優先することを再認識し、不安全状態・不安全行動・不安全行動を無くすため、「何が危険か」、「どうなれば危険か」など、基本に立ち返り、各職場での安全総点検を行うこと等を啓発する。
- ・特に、死亡災害の増加した建設業を始め、陸上貨物運送事業（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）、農業、林業を重点業種として実施する。

○ 死亡災害多発に伴う労働災害防止への取組の徹底について要請

- ・特に死亡災害が多発した建設業については、事業者や労働者等関係者が一丸となって労働災害防止に取り組むよう、和歌山労働局長から一般社団法人和歌山県建設業協会会長に対して、下記の通り要請を行う。

日時：平成29年3月23日（木）15：30～

場所：和歌山県建設会館 1階（和歌山市湊通丁北1丁目1-8）

※ 取材を希望される方は、3月22日（水）17時までに、和歌山労働局健康安全課（Tel.073-488-1151）まで連絡をお願いします。

添付資料

- ・「STOP！！死亡災害 2017 和歌山」
- ・「解体作業での労働災害を防止しましょう」